

(電子メール施行)
農技 第1445号
令和2年2月10日

各関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

病虫害発生予察防除情報第6号を発表しました。

暖冬のため、スクミリンゴガイの越冬量が例年より多くなると予想されます。昨年スクミリンゴガイの発生が確認された地域では、防除等のご指導をお願いします。

令和元年度 病虫害発生予察防除情報 第6号
スクミリンゴガイの防除対策について

- | | |
|--------|--------------------|
| 1 対象作物 | イネ |
| 2 害虫名 | スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) |
| 3 対象地域 | 県南部 (特に播磨地域と淡路島) |

4 スクミリンゴガイについて

- (1) スクミリンゴガイ(写真)は寒さに弱いため、越冬時に多くの個体が死亡する。暖冬の場合は生存率が高く、その年の水稻栽培中に多発生する傾向がある。
- (2) 令和元年10月1日から翌2年1月31日(図: R1年度)の平均気温は過去10年間で最も高く、さらに今後1か月は気温の高い確率が80%と予報されており(近畿地方 1か月予報、令和2年2月6日、大阪管区气象台発表)、暖冬状態が続くと思われる。過去に暖冬年の水稻で(平成28年度)、本種による被害が多発しており、令和2年度水稻においては、平成28年度を上回る事態が予想される。昨年秋に本種の生息が確認されたほ場では、被害回避のため、冬期や移植期の防除対策に努める必要がある。
- (3) 本種は在来のタニシ類との見分けが難しいため、生息確認は卵塊(写真)の有無によって行うとよい。



写真 スクミリンゴガイ(左)と卵塊(中央と右)

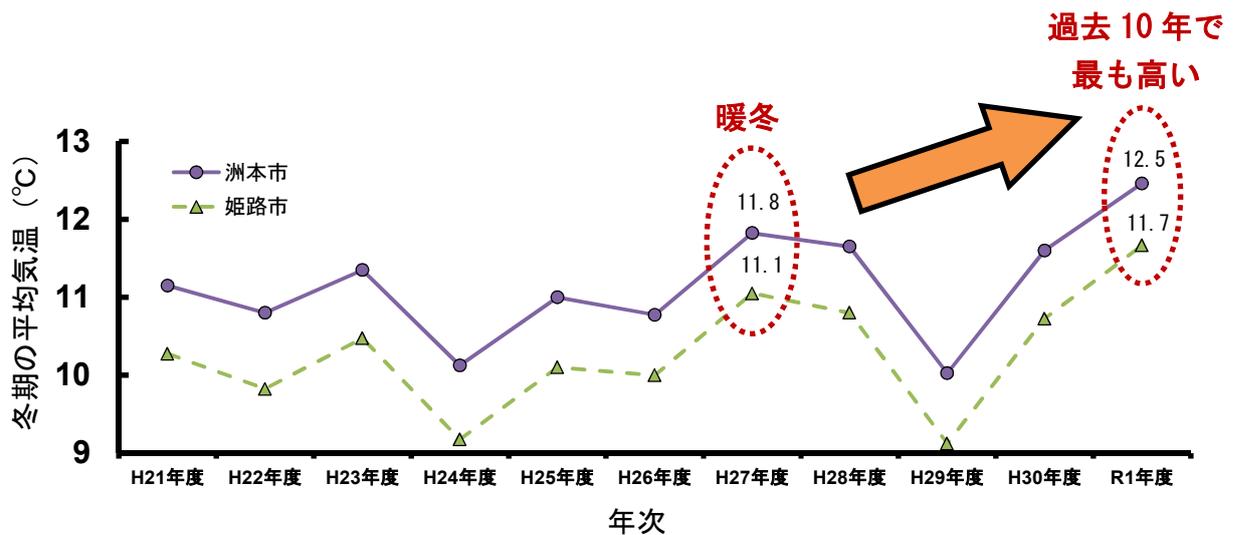


図 過去10年間の冬期(10月1日から1月31日)の平均気温(°C)
気象庁のアメダス観測地点(姫路市と洲本市)より

5 防除対策

(1) 耕種的・物理的防除

①冬期の耕耘

厳冬期に耕耘を実施し、殻を傷つけて殺貝するとともに、土中にある貝を掘り起こし、寒風に曝すことで凍死させる。耕耘時の走行速度は低速(0.2 km/h程度)で、耕耘ピッチは短く(6 mm程度)、耕深は12 cm程度が効果的である。

②中成苗の移植

スクミリングガイは移植直後の軟らかい部位を好んで食べるため、4葉期以降の中～成苗を植え付けることで被害回避につながる。

③水路からの侵入防止

取水口に9 mm目合いの網(直播用には6 mm程度)を設置し、用排水路からの貝の流入を防止する。代かき前の入水期から移植後3週間(5葉期頃)までを設置期間とする。

④貝の捕殺や殺卵

移植直後の食害を防ぐため、移植前～直後に貝を捕殺する。ジャガイモやナス、キャベツなどを水中に置くと貝が集まってくるため、効率的に捕殺できる。ただし、広東住血線虫が寄生している可能性があるため、ゴム手袋を着用し、素手では触らない。卵塊は押しつぶして処分する。

(2) 化学的(薬剤)防除

①本田施用

例年よりもスクミリンゴガイの発生が多いと判断された場合、本田防除を行う(要防除密度の目安: 水稻移植後2週間以内に、殻高25mm以上の貝が1㎡当たり1.5頭以上で即時防除)。薬剤は湛水状態で散布し、3～4日間は水の入出流をさける。また、漏水田での使用はさける。

②注意事項

薬剤防除に当たっては、必ず登録薬剤を使用し、使用時期や使用方法、使用量などの適用条件を守ること。

表 主な本田処理剤

薬剤名	主成分	備考
スクミノン、ジャンボたにしくん、メタレックスRG粒剤など	メタアルデヒド	殺貝効果
スクミンペイト3、スクミンブルー	磷酸第二鉄	殺貝効果
キタジンP粒剤	I B P	殺貝効果
スクミハンター	チオシクラム	食害防止効果
パダン粒剤4、パダンバッサ粒剤、ショウリョクS粒剤	カルタップ	食害防止効果
ルーバン粒剤、ショウリョクジャンボ	ベンスルタップ	食害防止効果

6 注意事項

耕耘機などの農機具に付着した泥と一緒に、スクミリンゴガイが他のほ場へ拡散する事例が報告されている。複数のほ場で同一の農機具を使用する場合は、未発生ほ場から作業を始め、発生ほ場で使用した後は、泥をよく落とし、他のほ場へ持ち込まないようにすること。

その他、詳しい生態については、農作物病害虫・雑草防除指導指針の参考資料(<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/hyogo>)

「3-3 スクミリンゴガイの生態と防除対策」を参照すること。

*この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページ

(<http://www.hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/>) に掲載しています。

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222